

## セブンヒルズ 15km ロードレース (2017/オランダ・ナイメーヘン)

## 競技結果

## 【男子】

氏名	所属	学年	記録	順位
阪口 竜平	東海大学	2年	43分36秒	6位
太田 智樹	早稲田大学	2年	44分48秒	12位
松尾淳之介	東海大学	2年	45分30秒	16位
館澤 亨次	東海大学	2年	48分00秒	33位

## 【女子】

氏名	所属	学年	記録	順位
加世田梨花	名城大学	1年	50分24秒	7位
五島 莉乃	中央大学	2年	52分13秒	9位
古谷 奏	松山大学	3年	53分46秒	12位
佐藤 成葉	立命館大学	2年	53分45秒	14位
棟久 由貴	東京農業大学	2年	61分36秒	56位

## 【総括】

コンディションは昨年ほど悪くはなかったが、  
気温が低く、風もあり、決して良いコンディションではなかった。

男子のレースは例年以上にウガンダ、ケニア、エチオピア選手を中心に  
エリートランナーの出場者が多かった。

優勝したウガンダの選手は、世界記録まであと4秒までせまり2位に1分23秒の大差をつけての勝利であった。

日本の男子選手では、阪口竜平（東海大）がすばらしい走りをした。  
タイム的にも昨年の鈴木健吾（神奈川大）を上回る、43分36秒であった。  
また太田智樹（早稲田）も44分48秒のタイムで走り、12位と健闘した。

女子についても、エチオピア、ケニア、ウガンダの5選手の力が抜け出ており、  
世界選手権のマラソン金メダリストもおり、かなりのハイレベルであったと思う。

日本の女子選手では、加世田梨花（名城大）の7位が最上位であった。  
2秒差で競り負けたルーマニアの選手は10000mが32分10秒前後の記録を持ち、  
3000障害で3回オリンピックに出場している選手である。

棟久由貴（東京農業大）はオランダに入り体調を崩し、本来の力を発揮することができなかった。